

授業科目		科目概要・形式	配当年次	オンライン参加
看護学研究特論		2単位30時間(15コマ) 講義科目	博士後期1年次 前期開講	☐ ・不可
科目責任者	角濱 春美			
担当者	角濱 春美、佐藤 愛、谷川 涼子、出貝 裕子、鳴井 ひろみ、福井 幸子			
1. 科目のねらい・目標				
ねらい 看護学の分野において自立して、質の高い研究を進めることができるように、研究のクリティークを通して研究方法論についての理解を深める。また、看護実践の改善に資する研究方法論について討議する。				
目標 ① Substruction の技法を用い、量的研究の構造・概念・指標の一貫性を整理することができる。 ② 自らの研究テーマについて、現時点での研究デザイン、研究方法の概要、研究方法論的強みと限界、倫理的問題について整理して考え、説明し、論じることができる。				
2. 授業計画・内容				
〔角濱春美〕 (8コマ) Substruction の技法を用い、量的・質的研究の構造・概念・測定指標までの一貫性を整理し、批判的吟味を系統的に行う。教員プレゼンテーションの後、各自が検索した英語論文についての Substruction を作成し、クリティークを行う。				
〔角濱春美〕 (4コマ) 自らの研究テーマ、または、自らが設定したテーマについて、Research Question の解明に適切な研究デザイン、研究方法の概要、研究方法論的強みと限界、倫理的問題について抽出する。これらの探求方法についてオンライン上でアドバイスを受け、最終プレゼンテーションの準備を行う。				
〔角濱 春美、佐藤 愛、出貝 裕子、谷川 涼子、鳴井ひろみ、福井 幸子〕 (3コマ) 学生のプレゼンテーションをもとに、学生同士及び教員との質疑応答及び意見交換を行う。これを通して、研究方法の理解を深める。				
3. 教科書、参考書				
＜参考書＞ J.R. グレイ&S.K. グローブ：看護研究入門 原著第9版 評価・統合・エビデンスの生成, 2023, エルゼビア・ジャパン株式会社, ISBN-13 : 978-4860347949 D.F. ポーリット&C.T. ベック：「看護研究 第2版—原理と方法」, 2010, 医学書院, ISBN-13 : 978-4260005265				
4. 成績評価方法				
Substruction についてのレポート (50%) 研究方法に関わるプレゼンテーション及び、プレゼンテーションの修正レポート (50%)				
5. 受講要件				
なし				
6. 社会人学生に対する配慮				
夜間、土日開講とする。学生及び教員の要望により、リモートでの同時双方向型授業を行います。				
7. その他				
オンライン授業とします。webex のチーム機能を用いてプレゼン資料の共有や質疑応答を行います。 最終プレゼンテーションでは、自らのテーマについて多くの先生からの多方面からの意見や質問を受けることができます。「これから探求すべき方向性が見えてきた」、「どのような点が研究方法上の課題になるかが理解できた」、というポジティブな反応が得られています。研究動機（研究テーマへの Real Reason）を大切にしつつ、研究へと昇華させるための博士課程での課題を見出しましょう。 参加型のアクティブラーニングであるため、オンデマンド講義ではありません。				